

# 栗原市病院事業経営健全化計画

平成 21 年度

- 重点取組事項等に対する点検・評価報告書 -

栗原市立病院経営評価委員会

【 所管：栗原市病院事業 医療局医療管理課 】

## 目 次

### 平成21年度重点取組事項等に対する点検・評価報告書

1 栗原中央病院の取組みに対する意見等	-----	1
2 若柳病院の取組みに対する意見等	-----	2
3 栗駒病院の取組みに対する意見等	-----	3
4 総括	-----	3

### 資料1 平成21年度重点取組事項に係る自己点検・評価

栗原中央病院	-----	4~5
若柳病院	-----	6~7
栗駒病院	-----	8~9

#### 自己点検・評価の記載項目

- 1 病院の果たすべき役割（経営方針）
- 2 取組実績に対する点検
  - (1) 医療機能確保の視点
  - (2) 財務の視点
  - (3) 業務プロセスの視点
  - (4) 学習と成長の視点
- 3 収支計画及び決算（収益的収支）
- 4 主な経営指標及び実績
- 5 自己評価（病院総括）

#### 〔添付資料〕

別紙1 市立3病院収支計画書	-----	10~12
別紙2 市立3病院経営指標	-----	13~15

資料2 栗原市立病院経営評価委員会委員	-----	16
---------------------	-------	----

資料3 栗原市立病院経営評価委員会設置要綱	-----	17
-----------------------	-------	----

**栗原市病院事業経営健全化計画**  
**平成21年度重点取組事項等に対する点検・評価報告書**

栗原市病院事業から提出された「平成21年度重点取組事項に係る自己点検・評価」及び「決算関係資料」を基に、栗原市病院事業経営健全化計画における市立3病院の取組実績の点検を行った結果は、次のとおりである。

平成22年12月1日

栗原市立病院経営評価委員会  
委員長 小山田 恵

**1 栗原中央病院の取組みに対する意見等**

医療機能の視点では、外科、眼科及び小児科医の招へい、また、CT更新やMRIの増設など、高度医療に向けた整備を行ったことや、平成22年3月から7対1の看護配置基準に移行したことは高く評価する。今後においても7対1体制を維持できるよう看護職員の確保に努力願いたい。

また、OT・PTの採用によるリハビリテーションの充実や、外来化学療法施設基準取得の検討など、病院機能の向上に積極的であり、地域医療の中核病院としての医療機能の充実が図られてきている。

財務の視点については、平成21年度においてDPC準備病院の届出を行ったこと、院内物流の効率化を図る目的でSPD専門業者への業務委託、及び他病院との共同購入を開始したことは取組みとしては評価できるが、導入後の効果などの検証が必要である。

業務プロセスの視点では、初期臨床研修医3名を採用したことは、教育機能を持った中核病院としての機能強化にも繋がることで、地域医療への貢献や臨床研修の質の向上を図り、臨床研修医が定着するよう望むものである。

学習と成長の視点においては、認定看護師の養成と位置付け、及び手当等の制度化検討は評価できるが、病院事業に精通した事務職員の確保や医事専門職の採用には、民間からの採用も含め資格と実績をもつ者に限定すべきことを強く望みたい。

収支計画および決算関係では、平成21年度は入院患者数の減少により、計画額に比較して医業収益及び経常利益とも減少し経常損失が188,061千円になったが、減価償却費を除いた場合121,766千円の黒字となる。今後は、キャッシュ・フローを見据えながら経営状況の把握を行うことを要望する。

経営指標を項目ごとに見ると、病床利用率が一般・療養病床合計で65.7%であり、計画値をかなり下回っている。この実績から見れば健全経営化は元より、病院経営の崩壊に繋がりがねない状況であり、特に、療養病床が50.3%であり病床利用率の低さが目立っており早急な改善を要する。

また、決算分析を見ると診療単価が低いことが指摘できる。その原因としては、1人1日当たりの診療額で、入院の注射、処置及び手術、検査が軒並み低く、外来では投薬が極端に低い。注射、検査、放射線は、入院・外来とも過去5年間で改善傾向は見られておらず、同規模施設との比較では入院が79%、外来が71%の割合でしかない。これは、DPCに参入するとその要因がはっきり出るが、薬品費、医療材料費の低さにその理由が表現されている。

しかし、これらは診療担当者の思考の転換で改善されるものであり、CTやMRIなど高度医療機器の院内における積極的な活用と、医療機器の共同利用の促進等がポイントとなる。

また、地域医療支援病院の取得について、紹介率や逆紹介率などのハードルは高いが、地域医療の向上と活性化、医師間の連携などに寄与するとともに経営的にもメリットが大きいので、検討が必要と思われる。

平成22年度になってからの経営状況は一変しており、平成22年4月から6月までの実績からすれば、平成22年度決算は約2億円の黒字が見込まれると推察される。

これまでの努力がようやく実を結ぶ兆しが出てきたものと理解される。努力すれば報われるという実感を持って、今後とも病院機能の質の向上と病院運営に尽力されることを切に期待する。

## 2 若柳病院の取り組みに対する意見

120床の病院で常勤医師5名、病床利用率が93.4%、経常収支比率は101.9%であり、経常利益は35,810千円の黒字、減価償却費を除いた場合の経常利益は204,930千円の黒字である。この経営数値は、地域医療に即した慢性期医療・在宅医療・介護支援など高く評価できる。

しかしながら、平成22年3月に内科医師1名が退職し、その後不補充の状況である。また、平成23年3月に外科医師が定年退職を迎えるなど、常勤医師招へいの早急な対応が迫られている。

在宅医療に興味をもつ医師の招へい、或いは常勤医師の高齢化に伴う医師不足の対応として栗原中央病院に医師を集中させ、そこから医師を派遣する体制も検討課題の一つである。

地域医療を実習するため仙台医療センターから4名の臨床研修医を受け入れている実績は、これまでの院長を中心とした医療スタッフが積み上げてきたものである。

なお、決算において、未収金が多額になっており早急に改善すべきである。

### 3 栗駒病院の取り組みに対する意見

平成21年4月1日から新病院移転とともに、病床数を97床から75床に見直しを行い、常勤医師4名での運営をスタートさせた。

平成21年度当初（新築移転後）に患者数が一時的に減少したことが影響し、病床利用率の計画値は達成できなかったが、年度後半の病床利用率は90%を超えるまで改善してきた。

決算においては、経常損失が34,659千円のマイナスとなったが、これは新築移転に伴う減価償却費や特別損失によるもので、減価償却を除いた場合の経常利益は39,162千円の黒字となっている。

医療機能的には、地域医療連携やリハビリテーションの機能強化などがなされており、今後、医療の質、量、そして経営的にも明るい展望が期待されるが、在宅医療への対応や職員給与が高い点など、その改善方策を企てる必要がある。

また、常勤医師の年齢が高くなっており、今後は、栗原中央病院に医師を集中させ、そこから医師を派遣する体制も検討すべきである。

### 4 総括

栗原市病院事業の平成21年度の取組実績については概ね良好な仕上がりであり、平成20年4月に地方公営企業法の全部適用に移行し、市立3病院を統括する病院事業管理者を配置したことにより、経営方針の明確化と組織機能の強化が図られたものと推測される。

栗原市立病院経営評価委員会の設置目的は、栗原市病院事業経営健全化計画に基づく取組状況、計画の見直し等に関する事項及び市立病院事業の経営全般についての評価、検討等を実施し、市立病院事業の経営健全化等を図ることと規定されている。

経営評価委員会には、病院事業側から説明者として病院事業管理者（兼栗原中央病院長）、医療局長及び事務局職員が出席しているが、若柳・栗駒病院の院長の出席が見られない。医師不足の渦中であって多忙なことは容易に理解できるが、病院長との意見交換も有意義と考えている。

## 平成 21 年度重点取組事項に係る自己点検・評価

病院名	栗原中央病院
-----	--------

## 1 病院の果たすべき役割（経営方針）

地域の中核病院として、高度医療・二次救急医療の役割を担い、急性期医療を中心に小児から成人・高齢者に至るまでの幅広い年代層への医療の提供、また、災害時における災害拠点病院としての機能、さらに、基幹型臨床研修指定病院としての役割を担います。

また、市民が必要な時に「安全」で「安心」できるような医療を提供するとともに、市立3病院・5診療所間、市内一次医療機関、さらには、近隣医療機関との病病連携・病診連携を図り、質の高い適切な医療を安定的に提供します。

## 2 取組実績に対する点検

## (1) 医療機能確保の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
常勤医師の招聘	平成 21 年 6 月に外科医師 1 名、平成 21 年 7 月に眼科医師 1 名、平成 21 年 10 月に小児科医師 1 名を採用	内科（循環器内科、神経内科、一般）産婦人科、耳鼻いんこう科、放射線科常勤医師の招聘
MRI 等検査の待機患者の解消	国の経済対策による「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し、開院時（H14.7.1）取得した CT 装置について、平成 22 年 1 月に更新、さらに、平成 22 年 3 月に MRI 棟の増築及び MRI 装置（1.5T）の増設を行い、開院時の MRI 装置と合わせ、2 台の設置となった	市内医療機関からの MRI 等検査対象患者の受入、待機期間の解消・短縮
保健・医療の連携強化 ・大腸がん二次検診の受入れ	市民健診の二次検診において、遠方で実施していた大腸がん二次検診の受入れを行った （H21 年度：75 歳以上 204 名）	健診センター機能の強化・充実 H22 年度から 65 歳以上を受入れ（約 400 名）
7:1 看護職員配置基準の取得	平成 22 年 3 月から 7:1 看護職員配置基準を取得し、良質な看護を提供できる体制を整えた	看護職員の確保
回復期リハビリテーション病棟入院料の算定準備	回復期リハビリテーション病棟施設基準取得の準備を進めた ・H20.5 PT2 名、OT2 名採用 ・H21.5 PT1 名採用	専任医師の招聘、PT・OT の採用
外来化学療法施設基準取得準備	外来化学療法施設基準取得を検討した	H22 年度に化学療法を実施する専用室を設置予定 H22.6 がん化学療法看護の認定看護師取得のための研修受講

## (2) 財務の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
DPC への準備推進	平成 21 年 6 月から DPC 準備病院の届出を行った	平成 23 年度 DPC 対象病院への移行に向け、院内での周知・検討・環境整備
院内物流の効率化の推進 診療材料の共同購入の推進	平成 21 年 7 月から SPD 専門業者に業務委託。院内物流の効率化を図るとともに、診療材料等の共同購入を検討した	同種・同効品への切替の推進 共同購入病院の募集 （H22 年度から、仙台オープン病院との共同購入開始）

(3) 業務プロセスの視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
初期臨床研修医の受入	平成 22 年 1 月に 1 名採用 平成 21 年度マッチングにおいて 2 名のフルマッチング(平成 22 年 4 月採用)	継続した研修医の受入 魅力ある研修プログラムの構築 院内全体による研修医定着のための環境整備

(4) 学習と成長の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
専門性の向上 ・認定看護師の育成、確保	認定看護師(皮膚・排泄ケア)取得のための研修受講 (H20 年度 1 名、H21 年度 1 名) H22 年 4 月に感染管理の認定看護師 1 名を採用	院内における認定看護師の位置付け、手当等の制度化 H22.4 感染管理認定看護師 1 名採用 H22.6 がん化学療法看護認定看護師研修受講
・事務職員の強化	医事専門職の採用 課長級 1 名、医事専門職 1 名 (H16 課長級 1 名、H19 係長級 1 名、H20 課長補佐級 1 名)	行政との話し合いにより、病院事業事務部門の組織強化 病院運営に精通した職員の確保

3 収支計画及び決算(収益的収支)

(単位:千円)

区分	年度	H20 年度		H21 年度		H22 年度		H23 年度
		決算額	計画額	決算額	計画額	見込額	計画額	
医業収益		3,183,124	3,546,886	3,231,096	3,546,886	3,539,229	3,546,886	
医業外収益		680,957	413,944	654,094	408,004	650,822	401,940	
特別利益		1,464	0	0	0	0	0	
合 計		3,865,545	3,960,830	3,885,190	3,954,890	4,190,051	3,948,826	
医業費用		3,715,930	3,721,937	3,802,180	3,705,925	3,739,611	3,693,628	
医業外費用		265,035	256,516	271,071	249,410	250,141	242,156	
特別損失		2,474	663	23,827	663	663	663	
合 計		3,983,439	3,979,116	4,097,078	3,955,998	3,990,415	3,936,447	
当年度経常損益		116,884	17,623	188,061	445	200,299	13,042	
当年度純損益		117,894	18,286	211,888	1,108	199,636	12,379	
累積欠損金		4,790,572	4,619,609	5,002,460	4,620,717	4,802,824	4,608,338	

詳細は、別紙 1「市立 3 病院収支計画書」のとおり。

4 主な経営指標及び実績

(単位:%)

	H19 年度	H20 年度		H21 年度		H22 年度		H23 年度
	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	見込値	計画値
経常収支比率	82.8	96.3	97.1	99.6	95.4	100.0	105.0	100.3
病床利用率	69.4	79.3	71.4	80.0	65.7	80.0	73.1	80.0
職員給与費比率	55.9	51.3	54.5	50.3	55.2	50.5	50.6	50.7
不良債務比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

詳細は、別紙 2「市立 3 病院経営指標」のとおり。

5 自己評価(病院総括)

平成 21 年度においては、常勤医師の招聘、7:1 看護職員配置基準の取得、DPC 準備の取組み、初期臨床研修医の獲得を重点事項として取り組んだ結果、概ね目標は達成されたものの、5 月～10 月までの入院患者の落ち込みにより、年間入院患者数及び病床利用率が減少し、決算において単年度 211,888 千円の赤字、累積で 50 億円を超える欠損金を計上した。

一方、患者数が落ち込んだことにより、看護職員を大幅に増員させることなく、外来看護師の病棟配置等で、平成 22 年 3 月から入院基本料 7:1 看護職員配置基準が取得でき、毎月 10,000～15,000 千円程度増収が見込まれることとなり、今後とも引き続き継続していきたい。

平成 22 年度においては、前年度当初比較において常勤医師が 5 名増加したことから、1 日平均入院患者数 240 人、病床利用率 80.0%を達成したい。

また、初期研修医 3 名(1 年次 2 名、2 年次 1 名)を受入できたことから、今後とも継続して研修医の獲得に努めたい。

平成21年度重点取組事項に係る自己点検・評価

病院名	若柳病院
-----	------

1 病院の果たすべき役割（経営方針）

地域における慢性期医療の基幹病院として、また在宅医療・訪問看護及び介護支援の拠点として、中核病院や診療所等と連携し、初期診療における総合的な診療を行い住民に信頼される病院を目指します。

2 取組実績に対する点検

(1) 医療機能確保の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
医師充足率の確保	医師配置特例の適用 ・H18.10月～H21.9月(特例適用により確保された額 33,000千円) ・H22.1月～H24.12月(県への働きかけにより特例適用の再適用)	常勤医師の招聘 H22.3月末 1名退職 H23.3月末 1名退職予定 市立病院、診療所医師による診療応援

(2) 財務の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
過年度個人未収金の回収	文書、電話による督促及び訪問徴収を行っているが、依然として多額の残高となっている ( H20年度末 228件 14,015千円 ) ( H21年度末 186件 14,985千円 )	未収金の発生防止策と回収策の検討、督促の強化

(3) 業務プロセスの視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
後発医薬品の積極使用	切替え可能薬品の選定について院内での検討(医局会、薬剤科)	後発医薬品使用体制加算の施設基準の取得
臨床研修医の研修受け入れ	仙台医療センター(4人)	地域医療研修の受け入れ施設としての研修内容の充実
在宅医療、訪問看護のエリア拡大	一関市(花泉)地区利用者6人の増	訪問体制の充実、強化

(4) 学習と成長の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
職場環境の改善 ・医師と看護職員の連携	院内に職場環境改善ワーキング会を設立し、各部署での討議と検討会により問題点の共通認識を持った(委員13名 委員会4回開催)	他病院、医療局との連携による情報と意識の共有化



### 3 収支計画及び決算(収益的収支)

(単位:千円)

区分	年度	H21 年度		H22 年度		H23 年度
	H20 年度	計画額	決算額	計画額	見込額	計画額
医業収益	1,663,392	1,678,580	1,714,251	1,678,580	1,666,534	1,678,580
医業外収益	192,851	188,188	182,795	187,320	207,342	185,838
特別利益	73	0	0	0	0	0
合計	1,856,316	1,866,768	1,897,046	1,865,900	1,873,876	1,864,418
医業費用	1,724,216	1,777,108	1,750,149	1,747,928	1,754,424	1,716,574
医業外費用	109,585	110,091	111,087	108,790	109,073	106,566
特別損失	2,612	481	952	481	481	481
合計	1,836,413	1,887,680	1,862,188	1,857,199	1,863,978	1,823,621
当年度経常損益	22,442	20,431	35,810	9,182	10,379	41,278
当年度純損益	19,903	20,912	34,858	8,701	9,898	40,797
累積欠損金	8,279	40,479	43,138	31,778	53,036	9,019

詳細は、別紙1「市立3病院収支計画書」のとおり。

### 4 主な経営指標及び実績

(単位:%)

	H19 年度	H20 年度		H21 年度		H22 年度		H23 年度
	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	見込値	計画値
経常収支比率	101.7	98.9	101.2	98.9	101.9	100.5	100.6	102.3
病床利用率	91.7	92.5	91.6	92.5	93.4	92.5	92.5	92.5
職員給与費比率	48.6	50.8	49.6	51.0	48.1	51.2	51.6	51.5
不良債務比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

詳細は、別紙2「市立3病院経営指標」のとおり。

### 5 自己評価(病院総括)

常勤医不足の中、非常勤医師の診療応援により病床利用率が向上し(H20年度 91.6% H21年度 93.4%)、さらに医業収支率や経常収支率が安定化している。

また、看護職員の若返り等により職員給与費比率が減少し(H20年度 49.6% H21年度 48.1%)病院としての経営状況は改善しているものの、常勤医師の早急な招聘が最大の課題となっている。

平成21年度重点取組事項に係る自己点検・評価

病院名	栗駒病院
-----	------

1 病院の果たすべき役割（経営方針）

地域に密着した良質な医療を提供し、地域住民の健康を守ることに全力を尽くします。  
「和顔愛語」「恕」の精神で多くの地域住民から愛される病院を目指します。

2 取組実績に対する点検

(1) 医療機能確保の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
患者満足度・療養環境改善	病院の新築・移転(H21.4.1)により1床当たり面積が増加し、設備面でも療養環境が大幅に改善	患者満足度調査の実施 外来待ち時間短縮等、患者サービスの向上を図る
地域医療連携の推進	紹介率 H20年度 12.6% 15.5% 逆紹介率 H20年度 26.8% 23.0% H22.2月より専任の退院調整担当者(看護師)を配置	専任の退院調整担当者を活用し、更なる紹介率の向上・地域医療連携の充実を図る(H22年度目標: 紹介率 25.0%・逆紹介率 35.0%)
リハビリテーションの充実	H21.4より常勤理学療法士1名を配置	H22.4より、リハビリ機能強化のため常勤理学療法士2名を配置

(2) 財務の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
病床利用率の向上	H21年度に病床数を97床から75床とし、目標病床利用率を90.7%としたが、実績は80.4%であった 移転当初に入院患者数を調整したことが影響した	H22年度は、75床に対し目標90.7%の達成を図る(6月現在一般90.9%、療養88.4%、合計89.9%) 亜急性期入院医療管理料1(8床)を取得し、収入増を図る
光熱水費・燃料費等経費の効率化	オール電化で新築したことにより電気料・燃料費・業務委託費のトータルで約6,400千円削減	H22年度は業務委託の委託内容精査や契約の複数年度化等により、更なる経費の削減を図る

(3) 業務プロセスの視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
医療安全の充実	リスクマネジメント部会12回開催 院内研修5回 延べ117名参加 院外研修1回 延べ4名参加	H22年度より、月例の委員会に加え、毎週1回医療安全カンファレンスを開催し、更なる充実を図る
病院情報システム整備	H21.4よりオーダリングシステムを稼働	今後も院内情報の共有化を図る

(4) 学習と成長の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
専門性の向上	認定看護管理者研修受講 1名(ファーストレベル)	今後も、毎年1名受講予定
各種研修の充実	H21年度院内研修 15回延べ389名 H21年度院外研修 18回延べ59名 (医療安全研修を除く)	今後も院内研修の充実を図るとともに、積極的に院外研修を受講できる環境を作る

### 3 収支計画及び決算(収益的収支)

(単位:千円)

区分	年度	H20 年度		H21 年度		H22 年度		H23 年度
		決算額	計画額	決算額	計画額	見込額	計画額	
医業収益		743,322	839,177	753,638	839,177	808,154	839,177	
医業外収益		146,216	160,363	167,572	160,165	173,058	159,612	
特別利益		2,820	0	0	0	0	0	
合計		892,358	999,540	921,210	999,342	981,212	998,789	
医業費用		896,646	991,801	919,341	995,088	963,333	1,000,084	
医業外費用		22,175	52,483	36,528	52,086	39,772	50,980	
特別損失		3,629	449	19,858	449	449	449	
合計		922,450	1,044,733	975,727	1,047,623	1,003,554	1,051,513	
当年度経常損益		29,283	44,744	34,659	47,832	21,893	52,275	
当年度純損益		30,092	45,193	54,517	48,281	22,342	52,724	
累積欠損金		19,364	61,160	73,883	12,879	96,225	39,845	

詳細は、別紙1「市立3病院収支計画書」のとおり。

### 4 主な経営指標及び実績

(単位:%)

	H19 年度	H20 年度		H21 年度		H22 年度		H23 年度
	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	見込値	計画値
経常収支比率	104.6	106.7	96.8	95.7	96.4	95.4	97.8	95.0
病床利用率	77.7	79.4	65.5	90.7	80.4	90.7	90.7	90.7
職員給与費比率	61.2	60.5	69.8	60.0	66.6	60.2	62.6	60.5
不良債務比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

詳細は、別紙2「市立3病院経営指標」のとおり。

### 5 自己評価(病院総括)

平成21年度は新病院に移転したことにより、患者サービス・アメニティは大幅に向上した。  
 病床利用率は、開院当初の4月は60.4%であったが、平成22年3月には92.2%となり、年度通算では80.4%となった。収入は年度当初の患者数の減少等により若干伸び悩んだ。  
 費用は、光熱費・燃料費等では節減できたが、旧病院分の器械・備品等の除却費の発生と減価償却費の増加により前年度より増加した。その結果、54,517千円の純損失となった。  
 平成22年度は亜急性期病床の設置等により平均在院日数の短縮と収入増を図るとともに、業務委託契約の見直し等により経費の節減を行い、経営の安定化を図りたい。

別紙1 市立3病院収支計画書

1 栗原中央病院

(単位：千円)

区分	年度	H20年度		H21年度		H22年度		H23年度
		計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	見込額	計画額
1 医業収益		3,462,717	3,183,124	3,546,886	3,231,096	3,546,886	3,539,229	3,546,886
(1) 入院収益		2,465,429	2,184,758	2,549,598	2,176,445	2,549,598	2,477,287	2,549,598
(2) 外来収益		767,928	681,753	767,928	723,174	767,928	732,947	767,928
(3) その他医業収益		115,396	137,066	115,396	139,255	115,396	115,396	115,396
(4) 他会計負担金		113,964	179,547	113,964	192,222	113,964	213,599	113,964
2 医業費用		3,769,142	3,715,930	3,721,937	3,802,180	3,705,925	3,739,611	3,693,628
(1) 給与費		1,776,193	1,734,729	1,783,734	1,783,958	1,791,309	1,791,309	1,798,920
(2) 材料費		619,771	530,901	619,771	561,914	619,771	619,771	619,771
(3) 経費		1,004,384	1,079,051	1,005,252	1,128,718	1,006,124	1,006,124	1,007,001
(4) 減価償却費		359,366	357,849	302,752	309,827	278,293	311,979	257,508
(5) 資産減耗費		1,000	5,376	2,000	9,673	2,000	2,000	2,000
(6) 研究研修費		8,428	8,024	8,428	8,090	8,428	8,428	8,428
医業損失 / 医業利益		306,425	532,806	175,051	571,084	159,039	200,382	146,742
3 医業外収益		419,717	680,957	413,945	654,094	408,005	650,823	401,941
(1) 受取利息配当金		1	477	1	639	1	1	1
(2) 他会計補助金		96,858	114,283	96,858	144,757	96,858	116,470	96,858
(3) 補助金		26,522	29,986	25,610	30,251	24,680	27,976	23,730
(4) 負担金交付金		280,657	510,771	275,796	441,026	270,786	490,696	265,672
(5) その他医業外収益		15,679	25,440	15,680	37,421	15,680	15,680	15,680
(6) 雑収益		0	0	0	0	0	0	0
4 医業外費用		263,387	265,035	256,516	271,071	249,410	250,141	242,156
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費		198,318	200,375	191,447	194,364	184,341	185,072	177,087
(2) 繰延勘定償却		0	0	0	0	0	0	0
(4) 雑支出		65,069	64,660	65,069	76,707	65,069	65,069	65,069
経常利益 / 経常損失		156,330	415,922	157,429	383,023	158,595	400,682	159,785
5 特別利益		0	1,463	0	0	0	0	0
(1) その他特別利益		0	1,463	0	0	0	0	0
6 特別損失		663	2,473	663	23,827	663	663	663
(1) 過年度損益修正損		663	541	663	2,403	663	663	663
(2) その他特別損失		0	73	0	21,424	0	0	0
(3) 臨時損失		0	1,859	0	0	0	0	0
当年度純利益 / 純損失		150,758	117,894	18,285	211,888	1,107	199,637	12,380
前年度繰越利益剰余金 / 欠損金		4,450,565	4,672,678	4,601,323	4,790,572	4,619,608	5,002,460	4,620,715
当年度未処分利益剰余金 / 未処理欠損金		4,601,323	4,790,572	4,619,608	5,002,460	4,620,715	4,802,823	4,608,335

端数については、四捨五入のため合計が合わない箇所があります。

## 2 若柳病院

(単位：千円)

区分	年度	H20年度		H21年度		H22年度		H23年度
		計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	見込額	計画額
1	医業収益	1,678,580	1,663,392	1,678,580	1,714,251	1,678,580	1,666,533	1,678,580
	(1) 入院収益	1,110,258	1,091,437	1,110,258	1,118,746	1,110,258	1,110,258	1,110,258
	(2) 外来収益	425,932	429,150	425,932	442,422	425,932	425,932	425,932
	(3) その他医業収益	58,390	56,305	58,390	56,754	58,390	58,390	58,390
	(4) 他会計負担金	84,000	86,500	84,000	96,329	84,000	71,953	84,000
2	医業費用	1,776,858	1,724,217	1,777,108	1,750,149	1,747,928	1,754,424	1,716,574
	(1) 給与費	853,113	824,948	856,663	823,776	860,231	860,231	863,813
	(2) 材料費	336,198	301,103	336,198	317,864	336,198	336,198	336,198
	(3) 経費	411,111	419,573	411,497	436,710	411,885	411,885	412,274
	(4) 減価償却費	174,553	173,409	170,867	169,120	137,731	144,227	101,906
	(5) 資産減耗費	210	3,520	210	820	210	210	710
	(6) 研究研修費	1,673	1,664	1,673	1,859	1,673	1,673	1,673
	医業損失 / 医業利益	98,278	60,825	98,528	35,898	69,348	87,891	37,994
3	医業外収益	188,869	192,852	188,188	182,795	187,320	207,342	185,838
	(1) 受取利息配当金	0	293	0	80	0	0	0
	(2) 他会計補助金	28,421	26,729	28,421	26,769	28,421	33,200	28,421
	(3) 補助金	7,898	10,563	7,898	10,156	7,898	7,898	7,898
	(4) 負担金交付金	149,528	151,898	148,847	143,372	147,979	163,222	146,497
	(5) その他医業外収益	3,022	3,369	3,022	2,418	3,022	3,022	3,022
	(6) 雑収益	0	0	0	0	0	0	0
4	医業外費用	111,112	109,585	110,091	111,087	108,790	109,073	106,566
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	70,792	71,752	69,771	70,785	68,470	68,753	66,246
	(2) 繰延勘定償却	8,251	8,251	8,251	8,251	8,251	8,251	8,251
	(4) 雑支出	32,069	29,582	32,069	32,051	32,069	32,069	32,069
	経常利益 / 経常損失	77,757	83,267	78,097	71,708	78,530	98,269	79,272
5	特別利益	0	73	0	0	0	0	0
	(1) その他特別利益	0	73	0	0	0	0	0
6	特別損失	481	2,612	481	952	481	481	481
	(1) 過年度損益修正損	481	2,464	481	946	481	481	481
	(2) その他特別損失	0	77	0	6	0	0	0
	(3) 臨時損失	0	71	0	0	0	0	0
	当年度純利益 / 純損失	21,002	19,903	20,912	34,858	8,701	9,897	40,797
	前年度繰越利益剰余金 / 欠損金	1,435	11,623	19,567	8,280	40,479	43,138	31,778
	当年度未処分利益剰余金 / 未処理欠損金	19,567	8,280	40,479	43,138	31,778	53,035	9,019

端数については、四捨五入のため合計が合わない箇所があります。

## 3 栗駒病院

(単位：千円)

区分	年度	H20年度		H21年度		H22年度		H23年度
		計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	見込額	計画額
1	医業収益	841,995	743,322	839,177	753,638	839,177	808,154	839,177
	(1) 入院収益	535,221	462,904	523,686	458,101	523,686	523,686	523,686
	(2) 外来収益	199,522	188,287	206,785	191,708	206,785	206,785	206,785
	(3) その他医業収益	27,565	20,634	29,019	23,753	29,019	29,019	29,019
	(4) 他会計負担金	79,687	71,497	79,687	80,076	79,687	48,664	79,687
2	医業費用	903,640	896,646	991,801	919,341	995,088	963,333	1,000,084
	(1) 給与費	509,578	519,166	503,529	502,190	505,573	505,573	507,628
	(2) 材料費	103,278	95,052	102,680	85,049	102,680	102,680	102,680
	(3) 経費	264,637	259,306	281,383	256,289	281,069	281,069	281,391
	(4) 減価償却費	23,627	20,873	103,062	73,821	104,619	72,864	107,238
	(5) 資産減耗費	1,473	1,446	100	652	100	100	100
	(6) 研究研修費	1,047	803	1,047	1,340	1,047	1,047	1,047
	医業損失 / 医業利益	61,645	153,324	152,624	165,703	155,911	155,179	160,907
3	医業外収益	149,476	146,216	160,363	167,572	160,165	173,058	159,612
	(1) 受取利息配当金	0	135	0	29	0	0	0
	(2) 他会計補助金	25,801	18,229	25,801	16,236	25,801	27,764	25,801
	(3) 補助金	0	0	0	0	0	0	0
	(4) 負担金交付金	115,376	116,900	126,263	138,484	126,065	136,995	125,512
	(5) その他医業外収益	8,299	10,952	8,299	12,823	8,299	8,299	8,299
	(6) 雑収益	0	0	0	0	0	0	0
4	医業外費用	25,654	22,175	52,483	36,528	52,086	39,772	50,980
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	12,432	9,630	34,311	21,842	33,914	21,600	32,808
	(2) 繰延勘定償却	0	1,326	4,950	4,015	4,950	4,950	4,950
	(4) 雑支出	13,222	11,219	13,222	10,671	13,222	13,222	13,222
	経常利益 / 経常損失	123,822	124,041	107,880	131,044	108,079	133,286	108,632
5	特別利益	0	2,820	0	0	0	0	0
	(1) その他特別利益	0	2,820	0	0	0	0	0
6	特別損失	449	3,630	449	19,858	449	449	449
	(1) 過年度損益修正損	449	56	449	156	449	449	449
	(2) その他特別損失	0	0	0	19,702	0	0	0
	(3) 臨時損失	0	3,574	0	0	0	0	0
	当年度純利益 / 純損失	61,728	30,093	45,193	54,517	48,281	22,342	52,724
	前年度繰越利益剰余金 / 欠損金	44,625	10,727	106,353	19,366	61,160	73,883	12,879
	当年度未処分利益剰余金 / 未処理欠損金	106,353	19,366	61,160	73,883	12,879	96,225	39,845

端数については、四捨五入のため合計が合わない箇所があります。

別紙2 市立3病院経営指標

1 栗原中央病院

経営指標項目		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
病院機能評価	計画						
	実績		Ver.5.0 認定				
1日平均入院患者数	計画	210.0人	230.0人	240.0人	240.0人	240.0人	
	実績	201.3人	206.9人	197.2人			
1日平均外来患者数	計画	480.0人	480.0人	480.0人	480.0人	480.0人	
	実績	414.0人	414.5人	423.9人			
紹介率	計画	28.7%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	
	実績	30.2%	35.4%	32.9%			
逆紹介率	計画	21.9%	40.0%	40.0%	45.0%	50.0%	
	実績	20.7%	19.5%	20.5%			
医業収益比率	計画	88.6%	89.2%	89.5%	89.7%	89.8%	
	実績	87.6%	82.3%	83.2%			
病床利用率	計画	72.6%	79.3%	80.0%	80.0%	80.0%	
	実績	69.4%	71.4%	65.7%			
内 訳	一般病床	計画	77.8%	82.0%	84.0%	84.0%	84.0%
		実績	72.9%	73.5%	68.8%		
	療養病床	計画	40.1%	62.5%	60.0%	60.0%	60.0%
		実績	47.9%	58.0%	50.3%		
平均入院単価		計画	29,892円	29,368円	29,105円	29,105円	29,105円
		実績	28,090円	28,925円	30,244円		
内 訳	一般病床	計画	31,120円	31,120円	31,120円	31,120円	31,120円
		実績	29,447円	30,476円	32,284円		
	療養病床	計画	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
		実績	15,187円	16,655円	16,308円		
平均外来単価		計画	6,530円	6,530円	6,530円	6,530円	6,530円
		実績	6,552円	6,768円	7,049円		
経常収支比率	計画	88.0%	96.3%	99.6%	100.0%	100.3%	
	実績	82.8%	97.1%	95.4%			
平均在院日数 (一般病床)	計画	18.0日	17.0日	17.0日	17.0日	16.0日	
	実績	18.7日	18.6日	17.0日			

## 2 若柳病院の経営指標及び実績

経営指標項目		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
病院機能評価	計画						
	実績						
1 日平均入院患者数	計画	1 1 1 . 0 人	1 1 1 . 0 人	1 1 1 . 0 人	1 1 1 . 0 人	1 1 1 . 0 人	
	実績	1 1 0 . 1 人	1 1 0 . 0 人	1 1 2 . 0 人			
1 日平均外来患者数	計画	2 5 0 . 0 人	2 5 0 . 0 人	2 5 0 . 0 人	2 5 0 . 0 人	2 5 0 . 0 人	
	実績	2 3 5 . 5 人	2 3 5 . 4 人	2 3 4 . 7 人			
紹介率	計画	1 5 . 0 %	1 8 . 0 %	2 0 . 0 %	2 0 . 0 %	2 0 . 0 %	
	実績	1 3 . 6 %	2 7 . 2 %	3 2 . 2 %			
逆紹介率	計画	2 3 . 5 %	2 8 . 0 %	3 0 . 0 %	3 0 . 0 %	3 0 . 0 %	
	実績	2 5 . 5 %	3 2 . 7 %	3 6 . 9 %			
医業収益比率	計画	8 9 . 8 %	8 9 . 9 %	8 9 . 9 %	9 0 . 0 %	9 0 . 0 %	
	実績	8 9 . 7 %	8 9 . 6 %	9 0 . 4 %			
病床利用率	計画	9 2 . 8 %	9 2 . 5 %	9 2 . 5 %	9 2 . 5 %	9 2 . 5 %	
	実績	9 1 . 7 %	9 1 . 6 %	9 3 . 4 %			
内 訳	一般病床	計画	9 2 . 5 %	9 2 . 2 %	9 2 . 2 %	9 2 . 2 %	9 2 . 2 %
		実績	9 1 . 3 %	9 0 . 9 %	9 3 . 2 %		
	療養病床	計画	9 3 . 6 %	9 3 . 3 %	9 3 . 3 %	9 3 . 3 %	9 3 . 3 %
		実績	9 3 . 1 %	9 3 . 8 %	9 3 . 7 %		
平均入院単価	計画	27,404 円	27,404 円	27,404 円	27,404 円	27,404 円	
	実績	27,130 円	27,201 円	27,356 円			
内 訳	一般病床	計画	31,588 円	31,588 円	31,588 円	31,588 円	31,588 円
		実績	31,499 円	31,343 円	31,176 円		
	療養病床	計画	15,000 円	15,000 円	15,000 円	15,000 円	15,000 円
		実績	14,272 円	15,167 円	15,956 円		
平均外来単価	計画	6,954 円	6,954 円	6,954 円	6,954 円	6,954 円	
	実績	7,516 円	7,504 円	7,789 円			
経常収支比率	計画	9 8 . 9 %	9 8 . 9 %	9 8 . 9 %	1 0 0 . 5 %	1 0 2 . 3 %	
	実績	1 0 1 . 7 %	1 0 1 . 2 %	1 0 1 . 9 %			
平均在院日数 (一般病床)	計画	1 8 . 8 日	1 8 . 0 日	1 8 . 0 日	1 8 . 0 日	1 8 . 0 日	
	実績	2 0 . 1 日	1 9 . 9 日	2 1 . 5 日			



### 3 栗駒病院の経営指標及び実績

経営指標項目		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
病院機能評価	計画						
	実績						
1 日平均入院患者数	計画	77.0 人	77.0 人	68.0 人	68.0 人	68.0 人	
	実績	75.4 人	63.5 人	60.3 人			
1 日平均外来患者数	計画	162.0 人	162.0 人	162.0 人	162.0 人	162.0 人	
	実績	149.7 人	148.5 人	145.7 人			
紹介率	計画	15.5 %	20.0 %	20.0 %	25.0 %	30.0 %	
	実績	16.4 %	12.6 %	15.5 %			
逆紹介率	計画	34.1 %	35.0 %	35.0 %	35.0 %	35.0 %	
	実績	26.5 %	26.8 %	23.0 %			
医業収益比率	計画	85.5 %	84.9 %	84.0 %	84.0 %	84.0 %	
	実績	85.3 %	83.3 %	81.8 %			
病床利用率	計画	79.6 %	79.4 %	90.7 %	90.7 %	90.7 %	
	実績	77.7 %	65.5 %	80.4 %			
内 訳	一般病床	計画	78.2 %	78.0 %	91.1 %	91.1 %	91.1 %
		実績	76.7 %	69.4 %	80.9 %		
	療養病床	計画	81.1 %	80.9 %	90.0 %	90.0 %	90.0 %
		実績	78.8 %	61.3 %	79.6 %		
平均入院単価	計画	19,044 円	19,044 円	21,099 円	21,099 円	21,099 円	
	実績	19,266 円	19,967 円	20,807 円			
内 訳	一般病床	計画	24,564 円	24,564 円	25,116 円	25,116 円	25,116 円
		実績	24,344 円	24,148 円	24,613 円		
	療養病床	計画	13,378 円	13,378 円	15,000 円	15,000 円	15,000 円
		実績	14,008 円	14,926 円	15,003 円		
平均外来単価	計画	5,027 円	5,027 円	5,210 円	5,210 円	5,210 円	
	実績	5,149 円	5,219 円	5,439 円			
経常収支比率	計画	108.0 %	106.7 %	95.7 %	95.4 %	95.0 %	
	実績	104.6 %	96.8 %	96.4 %			
平均在院日数 (一般病床)	計画	20.0 日	19.0 日	18.0 日	18.0 日	18.0 日	
	実績	19.2 日	19.9 日	20.6 日			

## 栗原市立病院経営評価委員会委員

No	所 属	役職名	氏 名	備 考
1	全国自治体病院協議会	名誉会長	小山田 恵	委員長
2	(財)大原綜合病院	理事長	有 我 由紀夫	福島市医師会長
3	国立病院機構 仙台医療センター	事務部長	久 保 瀧 哉	(H22.10.31まで)
	国立病院機構 宮城病院	事務部長	佐 藤 浩 司	(H22.11.1から)
4	栗原市医師会	議 長	宮城島 堅	宮城島クリニック院長
5	(社)宮城県看護協会	会 長	上 田 笑 子	
6	宮城県総務部	参事兼市町村課長	吉 田 祐 幸	(H21.3.31まで)
		市町村課長	池 田 敬 之	(H21.4.1から)
7	日本医療文化化研究会	主宰	茨 常 則	副委員長 総務省地方公営企業経営 アドバイザー (東京都)
8	矢川昌宏公認会計士事務所	代 表	矢 川 昌 宏	公認会計士・税理士 (石巻市)
9	栗原市企業連絡協議会	会 長	小 山 信 康	(株)宮城化成 代表取締役
10	栗っこ農業協同組合	代表理事組合長	菅 原 章 夫	

(敬称略)

## 栗原市立病院経営評価委員会設置要綱

## (設置)

第1条 栗原市病院事業経営健全化計画（以下「計画」という。）に基づく取組状況、計画の見直し等に関する事項及び市立病院事業の経営全般について評価、検討等を実施し、市立病院事業の経営健全化等を図ることを目的として栗原市立病院経営評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

## (所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- ？ 計画に基づく取組状況、計画の見直し等に関すること。
- ？ 市立病院の経営全般について評価、検討等を実施すること。
- ？ その他病院事業管理者が必要と認める事項

## (組織)

第3条 委員会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、病院事業管理者が委嘱する。

- ？ 学識経験者
- ？ 医療関係者
- ？ その他病院事業管理者が必要と認める者

3 委員の任期は、平成24年3月31日とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

## (委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選任する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

## (会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

## (意見の聴取等)

第6条 委員会は、必要があると認めるときは、議事に係る関係者又は専門家に対し、出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は必要な書類の提出を求めることができる。

## (庶務)

第7条 委員会の庶務は、医療局医療管理課において処理する。

## (その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

## 附 則

## (施行期日)

1 この告示は、平成20年12月1日から施行する。

## (会議の招集の特例)

2 この告示の施行後、最初に開かれる会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、病院事業管理者が招集する。